

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究	学年	3年	単位数	4
教科書	高校世界史（山川出版社）		副教材	新世界史 チェック&チャレンジ			

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習について

- ①予習の仕方について：前もって、次回授業の教科書 2 頁程度を読んでおきましょう。
- ②授業の受け方＜授業では、授業内容を「覚える」のではなく「考える」ことを第一に心がけましょう。＞
- ・先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。
 - ・ノートは板書事項を写すだけではなくて、自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。
 - ・学習内容について、常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で受けましょう。
- ③家庭学習の仕方について
- ・授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましょう。その際、インターネットなどを利用することは効果的です。
 - ・新聞・雑誌・TVのニュース等に関心を持ちましょう。そして、ニュース内容について自分なりの意見を持つようにしましょう。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期	アジア諸地域とヨーロッパの再編	主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する
	中間	世界市場の形成と諸地域の結合	国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する 世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する
	前期	帝国主義とナショナリズムの高揚	世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解する
	期末	第二次世界大戦と諸地域の変容	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する 国際関係の緊張と対立を構造的に理解する 第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する
後期	後期	国際機構の形成と平和への模索	紛争解決の取組と課題を理解する
	中間	経済のグローバル化と格差の是正	格差是正の取組と課題を理解する
	学年末	科学技術の高度化と知識基盤社会 地球世界の課題の探究	知識基盤社会の展開と課題を理解する 各自で世界の諸課題について探究する

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	世界の歴史事象の意味や意義、特色などを考察し、それらを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	課題を主体的に探究し、日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて気付くことができる。

5 評価方法

計140時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%